

教育目標

1 スクール・ミッション

「自主、素直、気魄」を建学の精神とし、国際理解教育や体系的なキャリア教育、自主的、主体的な特別活動を通じて、豊かな国際感覚を備え、より高い目標に向かって挑戦し、多様性を尊重して共生社会の中で積極的に社会的役割を果たす人材を育成する。

2 教育目標

「水滴石穿」～ 高い志をもって、努力を継続し、進路希望を実現させる

- (1) 国際社会に生きる一員としての自覚と、グローバル化の進展の中で、柔軟な思考に基づいて、たくましく生き抜く人間を育成する。
- (2) 心身ともに健康な知力、体力を身に付け、未知なることを探究し新たな創造につながる力を備えて、自らの可能性を伸ばし、高い目標を目指して挑戦する人間を育てる。
- (3) 学習や特別活動等、調和のとれた活動で得た経験を活かし、多様性を尊重し、共生社会の中で積極的に社会的役割を果たせる人間を育てる。

3 スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー

- ①国際社会に生きる日本人として、幅広い教養や多様な文化への理解、豊かな感性と知識を身に付けている。
- ②思考力・判断力・表現力を駆使して、未知なるものや目の前の課題に立ち向かい、解決しようとする態度を備えている。
- ③様々なことに主体的・能動的に取り組み、他者と協働して社会に貢献しようとする一段高い志をもっている。

(2) カリキュラム・ポリシー

- ①必修科目・必修選択科目により、基本的な知識・技能を身に付け、学びに向かう力を育てる。
- ②学校設定科目・自由選択科目により、応用力や思考力・判断力・表現力を高める。
- ③各教科において言語活動を活性化し、コミュニケーション能力と表現力の向上を図る。
- ④総合的な探究の時間を活用し、未知なるものへの探求心や課題解決のための行動力を育成する。

(3) アドミッション・ポリシー

- ①各教科の学習に意欲的に取り組み、総合的な探究の時間にも積極的に参加する姿勢が備わっている。
- ②学校行事や生徒会活動に主体的・能動的に取り組み、貢献した経験を有している。
- ③部活動を3年間継続してやり遂げ、入学後も学習と両立しながら、継続して活動する意欲をもっている。

4 指導の重点

(1) 各教科・科目の指導

- ★ ①各教科・科目の指導目標を明確にして学習指導にあたり、観点別評価を活用して生徒の学力を把握する。また、一人1台端末やICT機器を利活用して指導の工夫や授業改善を促進し、学力向上の取組の充実を図る。
- ②全ての教科・科目の指導において言語活動の充実を図り、読書活動の推進に取り組む。
- ③特に公民科の授業や総合的な探究の時間において、主権者教育の推進を図る。
- ④教育活動のあらゆる場面において道徳教育の充実を図り、自己及び他者を尊重する態度を養う。

(2) 特別活動の指導

- ①生徒の自主的・主体的な活動を伸長し、生徒会活動・学校行事の活性化と充実を図る。
- ②生徒の体力、人間性や社会性の更なる向上を目指して、部活動への加入促進と活性化を図る。
- ③海外修学旅行の実施に向けて、ホームルーム活動を通して妹校との交流を図り、国際理解教育を推進する。
- ④教育活動のあらゆる機会を捉えて体力向上の取組、「学校2020レガシー」(オリパラ教育)の取組を継続する。

(3) 生活指導

- ★ ①生徒の規範意識を育成し、生徒の変化を見逃さず、適時性と組織力をもって問題行動の未然防止を図る。
- ②関係教員が生徒の情報を確実に共有して、悩みや課題を抱える生徒や保護者に寄り添い、必要に応じてスクールカウンセラーや外部の専門機関と連携しながら解決に向けて取り組み、いじめ防止の取組や自殺対策に資する教育の推進を図る。
- ③避難訓練や、地域の諸機関と連携した防災訓練を実施して防災教育の充実を図るとともに、外部の専門機関を活用したセーフティ教室や薬物乱用防止教室により、安全教育を推進する。

(4) 進路指導

- ★ ①全ての生徒の第1希望実現に向けて、3年間を見据えて進路指導部と各学年が連携を取り、計画的・組織的な進路指導を実践する。
- ②外部の専門機関と連携した定期的な模試及び分析会の実施を教科指導の改善につなげるとともに、ケース会議や三者面談を行い、個々の生徒のニーズに応じた進路指導を行う。
- ③進路講演会や、本校卒業生によるキャリアガイダンス講座等を通してキャリア教育の推進を図る。
- ④放課後や長期休業中の補習や講習の充実、自習室の活用促進により、授業外での学習への取組の向上を図る。

(5) 総合的な探究の時間

- ①1学年では教科「人間と社会」の代替として、人間としての在り方・生き方についての土台作りを行う。
- ②2・3学年では自己の進路実現に向けての課題を自ら見出して探究し、また、他者と協働して解決に取り組んだり、自己の考えを発表したりする機会を通して思考力・判断力・表現力の育成に役立てる。
- ③ワークシートやレポートの作成により、自己の取組の振り返りを行う。

5 教育目標達成のための特色ある教育活動等

(1) 教育目標達成のための特色ある教育活動

- ①英語教育推進校として、論理・表現、英語表現における習熟度別授業実施、GTEC1・2学年全員受験による4技能の測定、年3回の英検校内実施、TGG体験(1・2学年)、レシテーションコンテスト(1学年)、スピーチコンテスト(2学年)実施により、表現力の向上を図る。
- ②国際理解教育推進とグローバル人材の育成を目指して、イングリッシュキャンプ、台湾修学旅行、ニュージーランド語学研修を実施し、姉妹校とのオンライン国際交流や学校訪問の受け入れなどを積極的に行う。

(2) 学校週5日制への対応

- ①部活動の充実を図り、技術だけでなく、人間性や社会性の更なる向上を図る。
- ②検定試験や模擬試験を実施し、積極的に受験を呼びかけ、進路実現に活用させる。
- ③本校の教育活動の地域への公開や地域行事への参加を促進する。